

News Release

2015年10月13日

特定波長の点滅光で、夜蛾(やが)による農作物被害を低減し生育への悪影響を抑制 広島県立総合技術研究所農業技術センターと電球形LED防蛾ランプを共同開発

シャープは、広島県立総合技術研究所農業技術センター(以下、農技センター 所在地：東広島市)と共同で、夜行性の蛾類(夜蛾類)による農作物被害の低減と、光による農作物の生育への悪影響の抑制を両立させた、電球形LED防蛾ランプを開発しました。来春に製品化、販売を目指します。

農作物に害をおよぼす夜蛾類を、農薬を使用せずに防除する方法として、黄色に発光する防蛾ランプの効果が認められています。しかし、従来の防蛾ランプは常時点灯する水銀灯や蛍光灯を用いており、キクやイチゴなど光に敏感な農作物の生育に悪影響を与えるため、使用できませんでした。

このたび開発した電球形LED防蛾ランプは、農技センターが保有するLED点滅光による防蛾照明技術と、シャープが保有するLEDの設計・製造および制御ノウハウを融合して実現しました。LEDを光源に用いることで、ランプの長寿命化と低消費電力化を図るとともに、水銀灯や蛍光灯では実現が難しい点滅発光により、農作物の育成への悪影響を抑制します。

当社は、本製品化を通して、農作物の無農薬・減農薬栽培に貢献してまいります。

■ 主な特長

1. 高い防蛾性能

夜蛾類の飛来や行動抑制に実績のある黄色光を採用

2. 点滅光により農作物生育への影響を抑制

キク、イチゴなど光に敏感な農作物への使用が可能

3. LEDによる高い環境性能

- ・ランプの長寿命化と低消費電力化を実現
- ・小型軽量、壊れにくい材質で設置が容易

【お問い合わせ先】

お 客 様 : シャープ株式会社 電子デバイスカンパニー BtoB事業推進センター (084)940-1440



シャープ 電球形LED防蚊ランプ(サンプル品)